

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

岡山大学教育学部理科教育講座教員

1. 教授1名
2. 理科教育講座
3. 教科内容学（物理学分野）宇宙物理学を含む
4. 教養教育：教養物理学、英語（教育学部）等
学部：基礎物理学、物理学基礎研究、現代物理学、電磁気学、物理学実験（コンピューター活用を含む）、基礎理学、教育内容研究・理科、教育内容研究・生活科A等
修士課程：現代物理学特論I、現代物理学特論II、現代物理学特論I実験
博士課程：専門講義と研究指導の担当
5. 2006年4月1日
6. 博士の学位を有する方

年齢は平成18年4月1日現在、概ね55歳以上の方。研究業績は、国際誌及び国際誌相当の雑誌・本（レフェリーのあるもの）に30編以上の論文があり、かつ、そのうち3編以上は最近5年以内のものであること。

日本物理学会の分類で、物性関係分科会の領域（領域1～7, 9, 10）または、宇宙線・宇宙物理学領域に属する実験系の方が望ましい。

物理学教育の分野において幅広い教育上の対応ができ、地域の小・中学校等の教育現場に対する指導にも積極的に関与できる方。

岡山市近郊に在住できること。

教員免許状を有していることが望ましい。

7. (1) 履歴書
- (2) 教育・研究業績一覧
 - 著書、レフェリー付き論文、その他に分類して記載のこと。
 - 共著論文については、共著者の氏名、本人の分担などを概要欄に明記のこと。
- (3) 主要な著書、論文の別刷（コピー可）10編
- (4) これまでの研究概要、将来（理科教育についての抱負を含め）の研究計画（合わせて1,000字程度）
- (5) 健康診断書（国公立病院又は保健所にて作成したもの）

備考：(1)～(2)の書式については、科学技術振興機構研究者人材データベース (<http://jrecin.jst.go.jp/>) の本公募要領のページからダウンロードした所定の書式をお使いください。

8. 2005年10月31日（月）必着
9. (1) 〒700-8530 岡山市津島中3-1-1 岡山大学教育学部長宛
- (2) 〒700-8530 岡山市津島中3-1-1 岡山大学教育学部理科教育講座主任 小倉久和教授
Tel: 086-251-7640
e-mail: ogurah@cc.okayama-u.ac.jp
10. 封筒に「教科内容学（物理学分野）教員応募書類在中」と朱書き「書留」または「簡易書留」にて送付のこと。
11. (1) 岡山大学教育学部ホームページ
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/ed/Edu.html>
- (2) 面接をお願いすることがあります。
- (3) 現在、教科内容学（物理学分野）には、稲田佳彦助教授が在籍しており、物性物理学領域（強相関電子系分野）の授業科目を担当しています。
- (4) 提出していただいた書類は、返却しません。ご承知おき下さい。

東京大学大学院理学系研究科宇宙物理学教授

1. 教授 1 名
2. 理学系研究科物理学専攻
3. 宇宙物理学（観測的宇宙論）
5. 決定後できるだけ早い時期
7. (1) 履歴書, (2) 業績リスト, (3) 研究業績の概要 (2,000 字以内), (4) 研究計画 (2,000 字以内), (5) 主要論文の別刷またはコピー 5 編 (2 部), (6) 意見を伺える方 3 名の氏名・職名・e-mail
8. 平成 17 年 10 月 31 日必着
9. (1) 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院理学系研究科物理学専攻
江口 徹専攻長あて
(2) 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻教務
Tel: 03-5841-8866
e-mail: kyomu@phys.s.u-tokyo.ac.jp
10. 封筒に『宇宙物理学教授応募書類在中』と朱書きし、簡易書留で送付のこと。原則として応募書類はお返しいたしません。

国立天文台理論研究部教授

1. 教授 1 名
2. (1) 理論研究部
(2) 東京都三鷹市
3. 理論天文学
4. 全国の理論研究者との連携を保ちつつ、観測天文学も視野に入れて、理論天文学を指導的に推進する教授を求めます。
5. 2006 年 4 月 1 日以降なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し、主要論文 5 編以内に○印を付し、共著の主要論文には役割分担を記すこと), (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に前記 (1)~(5) の概略が分かる書類
8. 2005 年 11 月 21 日 (月曜) 必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 海部宣男
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台副台長 観山正見

Tel: 0422-34-3738

e-mail: miyama@th.nao.ac.jp

10. 封筒の表に「理論研究部教授応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営会議にて行います。

山形大学理学部物理学科教員

1. 助教授 1 名
2. 物理学科, 数理物理学講座
3. 物性理論または宇宙物理学理論
4. 4. 教養・学部・大学院の教育, 及び研究に従事
5. (1) 2006 年 4 月 1 日, (2) なし
6. 博士号取得者
7. (1) 履歴書 (写真貼付), (2) 研究業績リスト (査読論文とそうでないものを分けたリストとすること), (3) 主要論文別刷 (コピー可) 5 編以内, (4) これまでの研究概要と今後の研究計画 (A4 判 2 ページ以内), (5) 教育についての抱負 (A4 判 2 ページ以内), (6) 推薦者又は照会者 2 名の氏名と連絡先
8. 2005 年 10 月 31 日 (月) 必着
9. (1) および (2)
〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12
山形大学理学部物理学科 学科長 柴田晋平
Tel: 023-628-4552 Fax: 023-628-4567
e-mail: shibata@sci.kj.yamagata-u.ac.jp
10. 「教員応募書類」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。面接を行うことがある。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻教員

1. 2005 年 3 月 (98 巻 3 号)
2. 藤田 裕 (国立天文台主任研究員)
3. 2005 年 9 月 16 日

研究会・集案案内

自然科学研究機構国立天文台三鷹地区では、下記のとおり特別公開を開催します。

メインテーマ:

「アインシュタインと国立天文台」

日 時: 2005年10月15日(土) 10~19時
(入場は18:30迄)

場 所: 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台三鷹地区

主 催: 自然科学研究機構国立天文台
東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究
センター

総合研究大学院大学物理科学研究科天文科学
専攻

内 容: 観測・実験施設や設備などの公開, 展示, 天
文相談コーナー, スタンプラリー, 天体観望
会ほか

講演会(解析研究棟大セミナー室, 14:00~
16:30)

講演者:

日江井榮二郎(国立天文台・名誉教授)

「アインシュタイン塔と天文学」

川村静児(国立天文台・助教授)

「アインシュタインの奏でる宇宙からのメロ
ディー—重力波」

交 通:

1. JR 武蔵境駅南口より小田急バス狛江駅/狛江
営業所行(境 91)

2. 京王線調布駅北口より小田急バス武蔵境駅南口
行(境 91)/三鷹行(鷹 51)または武蔵小金井駅
北口行(武 91), いずれも「天文台前」バス停下
車

※車・バイクでの来場はご遠慮下さい。

問合せ先: 国立天文台

Tel: 0422-34-3600 Fax: 0422-34-3690

ホームページ <http://www.nao.ac.jp/>

京都大学 21 世紀 COE 「物理学の多様性と 普遍性の探求拠点」

第 3 回市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る —物理科学最前線—」

現代科学の発展により, 宇宙の果てから素粒子の世
界に至るまで普段我々が直接目にするのできない
ものを, さまざまな角度からとらえることが可能に
なってきました. 本市民講座では, さまざまな「目」
で自然をとらえ続ける 3 名の京大の研究者に, 我々に
魅力あふれる極限の世界へと導いていただきます. ぜ
ひご参加下さい。

日 時: 2005年11月20日(日) 午後1時~5時

会 場: 京都大学百周年時計台記念館(大ホール)

講演プログラム

特集テーマ「極限状態を見る」

1. 谷森 達(京大理物理学第二教室教授)

「見えない世界をガンマ線で見ると: ブラック
ホールからガン細胞まで」

2. 西川公一郎(京大理物理学第二教室教授)

「ニュートリノ: 極微の粒子がなぜ面白い?」

3. 水崎隆雄(京大理物理学第一教室教授)

「スピンの目で見るミクロの世界—MRI 顕微鏡
の開発と磁気構造—」

講演終了時に講師の方々と歓談できる茶話会を開く
予定(5時半~6時半)

対 象: 中高生以上

受講料: 無料

定 員: 500 名(事前申し込みは必要はありません)

講演終了後の茶話会(会費 500 円)への参加は当日
お申し込み下さい。

交 通: 会場の京都大学時計台には公共交通機関でお
越し下さい。

(バス停: 京大正門前より徒歩 5 分)

[http://www.kyoto-u.ac.jp/access/kmap/map6r_y.
htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/access/kmap/map6r_y.htm)

講演に関する問合せ先:

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京大理学部物理学第 2 教室内

市民講座「宇宙と物質の神秘に迫る」係

Tel: 075-753-3758

e-mail: shimin@cr.scphys.kyoto-u.ac.jp

主 催: 京大 21 世紀 COE 「物理学の多様性と普遍性
の探求拠点」

<http://physics.coe21.kyoto-u.ac.jp/main.html>

後 援: 京都新聞社, 物理教育学会, 天文教育普及研
究会, 京都市教育委員会, 京都府教育委員会

世話人: 柴田一成(京大理附属花山天文台), 太田耕司
(京大理宇宙物理学教室), 田中耕一郎(京大
理物理学第一教室), 鶴 剛(京大理物理学第
二教室), 国友 浩(京大基礎物理学研究所),
野村 正(京大理物理学第二教室)

岡山天体物理観測所

特別天体観望会のご案内

主 催: 国立天文台岡山天体物理観測所

共 催: 岡山天文博物館

国立天文台岡山天体物理観測所は, 国内最大級の
188 cm 反射望遠鏡による特別天体観望会を行います.
観望会への参加を希望される方は, 下記要項に従って

ご応募下さい。

記

1. 日 時: 11月12日(土曜日) 所要時間2時間半程度
(ふもとの集合場所より送迎バスで移動, 3班編成)
①1班 18時30分, ②2班 19時,
③3班 20時, 出発予定
2. 場 所: 岡山天体物理観測所・岡天文博物館
3. 対 象: 小学生以上(小学生は必ず保護者同伴のこと)
4. 天 体: 火星などを予定
5. 定 員: 100名(応募者多数の場合抽選)
6. 参加費: 無料
7. 申込方法: 往復ハガキに
(1) 代表者の住所, 氏名, 年齢, 連絡先電話番号
(2) 参加者全員の氏名, 年齢
(3) 希望する班の番号(①, ②, ③, いずれでも可は④を指定)を必ずご記入の上お申し込み下さい。申込人数はハガキ1枚につき5名まで。
8. 応募締切: 10月21日(金曜日) 必着
結果は10月末日までに連絡いたします。
9. 申込先: 〒719-0232 岡山県浅口市郡鴨方町大字本庄 3037-5
岡山天体物理観測所
Tel: 0865-44-2155 [代表] Fax: 0865-44-2360
10. 問合せ先: 同上(休祭日を除く月曜～金曜の9時より17時半まで)
詳細は URL: <http://www.oao.nao.ac.jp/>

※ご記入いただいたお名前, ご住所, 電話番号などは, 本観望会の連絡とイベント用保険加入のために利用し, その後速やかに破棄します。

Optics Japan 2005 講演募集

日本光学会では, 毎年, 学術講演会 (Japan Optics から Optics Japan: OJ に改称) を開催しており, 今年で第14回のOJを迎えます。本講演会は光学および光技術に関する研究発表の場であると同時に, わが国の光学分野における新たな情報発信の場として広く認知されております。光を科学する, 光で科学する研究をすべて対象としておりますので, 奮ってご参加下さい。

今年のOJ2005は, 「世界物理年—光のさらなる飛躍—」をキャッチフレーズに, 11月23日?25日の3日間にわたり, 東京・学術総合センター(一橋記念講堂)

で開催いたします。都心の大学施設外での開催は初の試みであり, 立派な一橋記念講堂で, 次の10年間の新たな光学の飛躍に向けた活発で密度の高い議論の場を目指しております。

他学会との連携シンポジウムや若手向けのベストプレゼンテーション賞の新設, 展示の活性化など, これまでにない企画が満載です。講演数は, 一般講演290件, シンポジウム51件にのぼり, 過去最大級の規模になりました。会員の皆さまにおかれましては, 奮って参加いただき, 大いにOJ2005を楽しんでいただきたいと思います。

- 日 時: 2005年11月23日(水) 9:30~19:00
11月24日(木) 9:30~18:00 (講演会終了後に懇親会)
11月25日(金) 9:30~15:55
- 場 所: 学術総合センター(一橋記念講堂)
〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
<http://www.nii.ac.jp/map/hitotsubashi-j.html>
- 交 通: 東京メトロ半蔵門線/都営三田線・新宿線「神保町」下車, A8出口より徒歩3分
東京メトロ東西線「竹橋」下車, 1b出口より徒歩4分

主 催: 日本光学会(応用物理学会)
協 賛: 日本天文学会, 日本分光学会, 日本物理学会, 他

参加申込: 参加申し込みをインターネットでのみ受け付けます。

事前の申込手続きは10月21日(金)までです。これを過ぎますと参加費などが高くなりますので, 事前登録をお勧めします。

- 問合せ先: Optics Japan 2005 事務局
Tel: 03-5925-2840 Fax: 03-5925-2913
e-mail: oj@opt-j.com
ホームページ: <http://www.opt-j.com/oj2005/>
〒164-0003 東京都中野区東中野 4-27-37
株式会社アドスリー内 Optics Japan 2005 事務局
(展示に関するお問い合わせ・お申し込みは, 精機通信社 Tel: 03-3367-0571)

会務案内

2005年度日本天文学会 林 忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林 忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者（論文）の推薦をお願いします。締切は両賞とも2005年11月19日（土）（必着）です。下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、

〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 日本天文学会宛

に郵送して下さい（論文賞についてはe-mailも可）。なお、封筒には「林 忠四郎賞候補推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記して下さい。とくに返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本学会の春季通常総会（2006年3月28日、和歌山大）にて行う予定です。

2005年度（第10回）林 忠四郎賞推薦要領

この賞は、林 忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。

分野等：広い意味での天文学（天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む）における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞件数：原則として各年に1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌（メダル）および賞金（30万円）。

推薦書の形式：表題は「2005年度 林 忠四郎賞候補者推薦書」として下さい。前年度の被推薦者は、今年度再度推薦がない場合においても選考の対象とします。しかし、変更などがある場合は改めて推薦書を提出して下さい。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補者（被推薦者、連名授賞可）について：氏名（ふりがな）、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先（電話、Fax, e-mail）
- 2) 授賞対象とする研究の表題
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、Fax, e-mail）、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨（300字以内）

- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）

2005年度（第10回）欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文が Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ) に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお、本賞の選考委員会は、林 忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文等：原則として過去5年以内に Publications of the Astronomical Society of Japan に出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者（共著の場合はすべての各共著者）に授与する。

授賞件数等：原則として1年に2件以内。賞状を授与する。

推薦書の形式：表題は「2005年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」として下さい。A4サイズの用紙（e-mailでも可）に、次の順序で横書きにして下さい。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由（1,000字程度）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職・連絡先（電話、Fax, e-mail）、被推薦者との関係
- 4) e-mailで応募する場合は jimuj@asj.or.jp 宛に出して、受領した返事を必ずもらって下さい。

2005年度研究奨励賞第17回受賞候補者の推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日（本年度は2005年1月1日）で35歳以下の者であって、毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌（メダル）および賞金（10万円）を併せ授与しています。本年度の受賞候補者の推薦を以下の要領でお願いします。

(1) 締切：2005年11月19日（土）必着

(2) 提出書類：○候補者名、現職、生年月日、○

研究の表題, ○推薦者の氏名と連絡先, ○推薦理由, ○関連論文リスト, ○推薦に関連して最も重要な論文のコピー (3編以内)

(3) 提出先:

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

選考委員会では, 推薦された方の中から, 研究奨励賞内規に基づき選考を行い, 候補者を評議員会に推薦します。

2005 年度 (第 5 回) 天文功労賞候補者の推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は, 近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動, 例えば長年の天体観測や, 突発的な現象の検出や的確な通報などを, 称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は, 天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。なお, 天文普及に関しましては, この賞の対象とはしないこととしております。対象者は, 「天文研究を主たる業務としない」個人および団体で, 日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は, 天体発見賞選考委員会が行い, 評議員会で決定します (天文月報 2001 年第 12 号 632 頁参照)。

天文学会の会員の方々からの候補者 (団体) 推薦を, 広く募集します。A4 紙 1 枚程度で, 候補者 (団体) 名, 功績名 (1 行程度), 功績の説明を書いていただき, 日本天文学会事務所 (〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp) にお送り下さい。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

推薦は随時受け付けておりますが, 今回の選考に確実に乗せるには, 2005 年 12 月 31 日までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

訂 正

(社)日本天文学会正会員の皆さま

2005 年度秋季通常総会議案の追加について

2005 年度秋季通常総会については, 月報 9 月号 (2005 年 8 月 20 日発行) にご案内しておりますが, [第 1 号議案], [第 2 号議案] に加えて [第 3 号議案] の追加をお願いいたします。

総会に出席できない方は, 月報 9 月号のハガキは破棄し, 同封のハガキを使用して投票をお願いします。既に投票された方は, お手数ですが改めて投票をお願いします。なお, 投票締切日は 10 月 1 日 (土) とさせていただきます。

お詫びいたしますとにもよろしくお願いします。

第 1 号議案: 2006 年度事業計画書 (案) 月報 9 月号掲載どおり

第 2 号議案: 2006 年度収支予算書 (案) 月報 9 月号掲載どおり

第 3 号議案: 第 16 期日本天文学会評議員候補者

任期 2006 年 1 月 1 日～2009 年 12 月 31 日の評議員選挙を, 定款及び評議員選挙施行細則に基づき, 2005 年 6 月 27 日～7 月 20 日を投票期間として行いました。7 月 22 日に選挙管理委員会が開票作業を行い, 以下の結果を得ましたので報告いたします。

評議員候補者 10 名

(五十音順, 敬称略, *印は現評議員)

井上 一*, 岡村定矩*, 海部宣男*, 郷田直輝,
柴田一成*, 須藤 靖*, 中川貴雄, 永田 健,
宮川雄大, 渡部潤一

2005 年 8 月 24 日

社団法人 日本天文学会
理事長 祖父江義明

和田桂一(編集長), 今西昌俊, 亀野誠二, 齋藤正雄, 寺田幸功, 濤崎智佳, 戸谷友則, 洞口俊博, 増田 智, 矢野太平
平成 17 年 9 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価 700 円 (本体 667 円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2005 年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)